

安全強化運動で6営業所が目標達成

期間中の事故発生件数が大幅減少

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）は、2023年9月1日から11月30日の3ヵ月間でフォークリフト事故ゼロを目指す社内施策「第5回安全強化運動」を実施し、6営業所が目標を達成した。期間内の事故発生件数は3件で、昨年度の19件から大幅に減少。同社では、「従業員の安全に対する意識が向上している結果と言える」と分析している。



安全強化運動は品質管理を行うQMS推進部主導のもと19年から始まった社内施策で、物流サービスの品質向上と従業員の安全に對

する意識統一・向上を目的とし、3ヵ月間で目標達成を目指す取り組み。期間中は各営業所内で社員の中から選出された安全強化運動リーダーが声掛けや見回り、勉強会の実施などを行い、社内ポータルサイトでそれらの活動を紹介し、全社で目標達成に向けて取り組んでいる。第5回は全営業所で目標を達成するためにさらに当事者意識を持ってもらうように、新たに掲示するポスターデザインと安全標語を社内で募集し、ポスターを作成。継続して実施してきた成果が表れ、第5回では平和島営業所・品川営業所・東京城南営業所・ロジポート川崎営業所・新山下営業所・横浜磯子営業所と、過去最多の6営業所が目標を達成した。また、過去4回の期間内での自責事故発生件数の平均が16・3件だったのに対し、今年度は3件と大幅に減少している。来年度も全営業所でのフォークリフト事故ゼロを目指す、安全強化運動を実施予定。